

守る会岡山 46号
2021. 6. 1 発行



森永ひ素ミルク中毒の被害者を

守る会岡山

岡山県本部事務局

〒700-0984 岡山市北区桑田町 18-28

明治安田生命岡山桑田町ビル4階

086-232-3855



新型コロナウイルスが猛威を振るっています。

岡山県も大変深刻な状況です。

自分や身近な人の健康を守る行動をとりましょう！

松岡先生を亡くして！

備中支部 森脇 良明

備中支部 平松 邦夫

親愛なる松岡先生の訃報に接し、通夜に参列しました。ただ眠っているような、今にも何か話されるのではないかとと思われるいつもと同じようなお顔でした。闘病中に書かれた絵画もいっぱい拝見しました。また、2人の娘さまとも、懐かしいお話ができました。

今回、先生を亡くした機会に、2年前ご自宅を訪問し作成したものの謙遜され、発行しないで欲しいと強く願われ、残念ながら記事にできなかった原稿を紹介します。

松岡先生から、私たち被害者として興味深い、行政（厚生省及び岡山県衛生部）と森永乳業が後遺症なしを証明するために行われたと思われる岡山県検診（官制検診）について詳しくお聞きしました。

この検診には、「仕組まれた政治的検診」として参加に否定的立場を取っていたが、被害者や親の中には検診を受けてみたいと希望する人も出てきたため、実施することになった。岡山県からの要請もあったので、被害者の立場に立って安易に多数決で決めず真実を探求するため、絶対少数派（21名中4名）となるけれども、松岡健一（水島協同病院）、水落 理（岡山協立病院）、遠迫克美（同仁病院）、三村啓爾（大畠診療所）の4名（新日本医師協会）の医師が調査委員会に加わった。先生達は、少数派としても真実があれば明らかにし公表するため、原子力委員会に参加していた物理学者の主張であった「自主・民主・公開」の原則を大切にし、臨もうと決意したそうです。

岡山県検診は、昭和46年2月1日から開始し、会議（月曜日）の前日には岡山県庁に行って県職員の方に資料を出してもらい、精査検討を行いその資料を基に、調査委員会委員長等、岡山の医学会の権威者たちと徹底的に夜遅くまで討論したそうです。最終まとめの調査委員会では、





一人ひとりの被害者がどういう病気を持って苦しみ悩んでいるかなどをまとめ（102例）、多数派から「松岡先生これくらいにしてくれや」という意見も出るほど大反論し、論戦では勝利したが、結果的には委員長グループが審議を強引に打ち切り、多数派の都合のいいようにまとめられてしまった。それに対して松岡先生を含む4人の委員は「真実を明らかにするのは多数決ではない」と強く求め、委員長を中心にまとめた報告書を不適切とし、4人の委員の意見をまとめた少数意見も付して公表することになった。

岡山県検診の結果は、昭和47年12月5日に発表されたが、厚生省は「岡山検診のまとめをもって厚生省の見解としない」という結論を表明しました。

そして不思議なことに、厚生省は後遺症なしを証明するために自ら指示したと思われる岡山県検診の結論を待たずに昭和46年11月15日の交渉の席で、信沢審議官は厚生省の不備、怠慢、手の汚れを認める発言をし、「各府県にも行政上の責任があることを通達する。また森永乳業にも社長に誠意を出すよう指示する」と表明したのです。

厚生省が急に守る会寄りに態度を変えた原因は、厚生省は岡山検診調査委員会の論議模様を事前に把握していた可能性もあり、少なくとも省内技官（医師）の人達は見聞きしていて、岡山県検診のまとめは始めから弱点があり、結果を信用してこれ以上誤った判断をすると取り返しのつかない事態になると判断したかもしれません。

尚、今回の件に関しては、「50年史」に対談形式で掲載されていること。私達4人は委員会の中で特別のことをしたとは思っていない。日頃の診療現場で、患者と向き合い、所見やデータを基に評価、診断する—その延長でした。それが通らない会議運営に異議を唱えたのです。言わば、当たり前のことをしただけです、と付け加えられたことを付記します。

松岡先生は静養中にもかかわらず、私たちがお聞きしたかった興味深い貴重な話を長時間お話しいただきました。先生たいへんお世話になりました。ご冥福をお祈りします。

松岡先生を偲んで

備前支部 堀内富美子



去る3月22日に松岡健一先生が亡くなりました。

わたしが、松岡先生と初めて出逢ったのは14歳の時水島協同病院に入院した時でした。（親戚のすすめでの検査入院だったと思います。）

同室には松崎真智子（旧姓山本）さんが一緒にマッチャン、フミさんと呼びあい、松岡先生も同じ様に呼んで下さり、現在に至

っていました。

30歳くらいの頃から少し先生との距離は、遠のいていましたが、次男が看護学校入学、なんと校長先生が松岡先生！！ 私的なお付き合いが再開しました。

松岡先生は、三年程前だったと思いますが、原因不明の癌で入院治療中になり本心、もうダメだろうと思いました。ご家族も同じお気持ちだったと、葬儀の後にお聞きしました。

無事復活されてからは、過ぎゆく時をお互いに惜しむ様に主人と共に深くかかわらせて頂く様になりました。

畑仕事、庭の草刈り、季節の物が手に入ると調理して持参したり、主人は囲碁の相手、民医連の話し合い、マルクス講話などの送り迎えなど、わたしに電話がかかってくるより、主人の方が多くなっていました。わたしは、少々焼きもち気分・・・

先生との貴重な時が頂けた事に感謝しております。

いつも温かく、優しい、父親の様な存在でした。

ありがとうございました。どうぞ安らかにお眠りにください。そして、天国からわたし達、被害者を見守っていてください。

備前・備中合同支部集会（お花見）

備前支部 春木範子



2021年3月27日(土)「たけべの森」にてお花見しました。

2020年はコロナウイルスの影響で自主的グループ活動も県本部活動としてのクリスマス会やリフレッシュ会なども出来なくて、誰にも会えなくて我慢だらけの1年でした。

2021年こそはみんなに会える活動を目指して、三密を避けて感染対策をしっかりした活動をする為には、どうすれば良いかを話し合いました。とりあえず野

外での活動という事で「お花見」を計画して見ました。

各自が現地集合・現地解散という集まり方で、しかも人混みを避けて「たけべの森」まで足を延ばす事にしました。思っていたより遠かったですが、久しぶりに再会した3人に元気を貰いました。お互いの近況や病気・仕事の話、これからの守る会活動に望むこと等々話は尽きません。

やっぱり顔を見ての活動は楽しいです。嬉しいです。今回は4人でしたが支部集会として少人数での集まりを多くする事で、より多くの会員の意見や要望を汲み上げる事が出来るようにしていけたらと思いました。その為にも各支部でお世話をしてくださる方を募集中です。



2021 年度守る会活動予定

1) 自主的グループ活動 (現在はすべて活動中止)

○なでしこサークル ○関節クラブ ○グラウンド・ゴルフ ○学習会

2) 県本部活動

○支部活動 会員の意見・要望を聞く機会として少人数での開催
フレイル予防のためのストレッチなどを取り入れる

○県本部総会 リモートも含めて検討中

○高野山参拝 新型コロナウイルスの感染状況やワクチン等の状況を見ながら判断

☆自主的グループ活動はひかり協会の援助を受けてする活動です。

そのため、ひかり協会からのゴーサインが出なければ実施することができません。

県本部活動も守る会としては、なるべく早く再開したいのですが、岡山でも感染者が増えてきている状況で、今後どのように活動をやっていくべきか全国本部の指導も受けながら模索中です。

全ての開催予定は未定です。皆さんに会う事が出来なかった寂しいこの1年でした。

「早く皆さんに会えるようになりたい!!」という強い思いを持って、コロナに負けないように、基本を守り免疫力を上げて乗り切りたいものです。その為にも守る会活動は大切だと思います。

編集部より



新型コロナウイルスが岡山県で凄い勢いで感染拡大しています。感染力の強い変異株も確認されています。

すでに遠い都会の話ではなく、隣人・知人・近所に感染者が出てもおかしくない状況になっています。私たちはすでに重症化する高齢者です。ワクチン接種は始まりましたが、供給不足で実際に接種できるのはいつになるかは分かりません。

医療体制もひっ迫してきています。特に

既存症のある方は早めの受診をして重症化しないようにしましょう。

今はひとりひとりが、ウイルスに感染しない、ほかの人に感染させないように気をつけることが、とても大切です。自分の命は自分自身で守りましょう。

「平穏な日常」が戻る日まで頑張りましょう。

機関紙「守る会岡山」に記事投稿、エッセイ、活動報告、制作作品など
どしどしお寄せください。お待ちしております。

「守る会岡山」ホームページ <http://www.mamorukaiokayama.sakura.ne.jp>